

共につろう! 多文化共生のまち

問まちづくり協働課(2階) ☎561-2337、FAX561-2482



「おはようございます!」の一言で、コミュニケーションが広がります

来日されて文化や人の対応などで、イメージと違っていたことや困ったことは?

日本はイメージ通りの充実した国で、32年前に草津に来たときは、私の住む地域では外国人は1人だけだったこともあり、皆さん温かく迎えてくれました。生活の上で困ったことは食べ物です。フィリピンではよく食べるグリーンマンゴーやタマリンドといった果実、トマトペーストが売っておらず、京都まで買いに行っていました。今ではフィリピン料理をおせち料理に入れて、アレンジしています。

言葉で困ったことや経験からアドバイスはありますか?

来日して1年ぐらいで会話と読みはできましたが、書き文字は今でも難しいです。例えば、苗字の「山本」「山元」と同じ発音でも「もと」には色々な漢字があります。私の苗字も「ばん」ですが「さか」と読まれる方もいます。また、助詞の「ーと」「ーに」「ーで」の使い方が今でも難しいです。言葉が通じないことで、外国人も日本人もお互いにコミュニケー

フィリピン出身
ばん
坂 ジョセフィナさん



- 1992年、日本語を学ぶため来日。2011年の東日本大震災をきっかけに、タガログ語の通訳や翻訳の仕事
- を始める傍ら、外国人児童生徒通訳やフードバンク
- 滋賀のボランティア活動にも積極的に参加。現在、
- 障害者施設で働きながら外国人機能別消防団にも
- 9年間所属し、イベントや講座でフィリピン料理の
- 講師も務める。

ションを控えてしまう人が多いかと思いますが、そんなときはボディランゲージが便利です! 単語に身ぶりをつけるだけで伝わった経験があります。

それと大事なのはあいさつですね。「おはようございます!」の一言でコミュニケーションが広がっていきます。あいさつはその地域に溶け込むのに必要な言葉であり、それは世界共通だと思っています。

多文化共生のまちになるために私たちができることは?

小さくても、身近な地域で外国人と一緒に楽しめるイベントが増えるといいですね。

日本に住む外国人には、日本の言葉を覚え、文化を知って生活してほしいです。そして、日本人には、身近な外国人の文化を知ってほしいですね。穏やかに生きていくためには、人とのつながりやコミュニティが必要だと思います。「今日も一日ありがとう」と言えて、みんなで助け合って暮らせる地域社会になってほしいですね。

▶ 坂さんが講師の
フィリピン料理教室



草津市国際交流協会
(KIFA)

KIFAは、国際交流と多文化共生を進める団体です。現在、会員やボランティア(ホストファミリー、イベントスタッフなど)を募集しています。詳しくは、KIFAのホームページをご覧ください。



安居さんと

学んで使おう
やさしい日本語講座

私が教えます!

🕒 来年1月15日(木) 10:00~12:00

📍 キラリエ草津 6階 大会議室(大路二)

👤 定 60人(先着順)

📞 他 手話通訳・託児(12月25日(木)までに事前申込要)あり

📅 申 来年1月9日(金)まで

📞 申・問 まちづくり協働課(2階) ☎561-2337、FAX561-2482



多言語翻訳にはこれが便利

ボイストラ
多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra」



詳しくはこちら

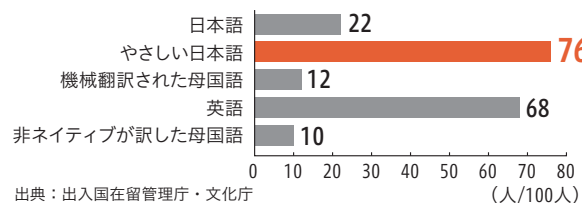


使い方の
ポイントは3つ
はさみの法則

- 1 はっきり言う
- 2 さいごまで言う
- 3 みじかく言う

「やさしい日本語」とは、難しい単語や表現を使わずに、外国人にも分かりやすく表現する日本語です。相手を思いやり「分かりやすく伝えよう」という気持ちで話すことで、外国人に伝えられることがたくさんあります。

●外国人が希望する情報発信言語



日本に住む
外国人は
外国語よりも
「やさしい日本語」
のほうが
分かりやすい!?

フリーランス日本語講師
やすい まなみ
安居 真菜美さん



▲UDCみなくさ(野路一、西友南草津1階)で開催している「やさしい日本語サロン」。外国人と日本人が「やさしい日本語」を使って交流しています

- オンラインや対面で日本語を教える他、草津市国際交流協会(KIFA)主催
- 「やさしい日本語サロン」のスタッフとして運営に
- 携わっている。日本語ボランティア歴8年。